高校生のみなさんへ

「キャリア」の意味や、高校生活でさらに伸ばしてほしい能力（基礎的・汎用的能力）、「キャリア・パスポート」のねらいを端的に示すことで、教職員、生徒、あるいは保護者と共通認識をもつ。

　人は、他者や社会のとのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きています。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものです。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもありますが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択や創造を積み重ねながら取り組んでいます。

　人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものです。

　このように、人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところです。

　これからのますます変化の激しい社会の中で、主体的に自らの可能性を発揮し、よりよい社会や世界と幸福な人生の創り手となっていくために、みなさんには、キャリア形成の視点から、以下の能力をさらに伸ばしていくことが求められています。

≪高校生活でさらに伸ばしてほしい能力≫

|  |  |
| --- | --- |
| ①【人間関係形成・社会形成能力】  　多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力  ≪例≫  ・友達や家の人の意見を聞くとき、相手の立場を考慮して、その人の考えや気持ちを受け止めようとする。  ・自分の考えや気持ちを整理し、相手が理解しやすいよう工夫して、伝えようとする。  ・人と何かをするとき、自分がどのような役割や仕事を果たすべきか考え、分担しながら、力を合わせて行動しようとする。 | ②【自己理解・自己管理能力】  　自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力  ≪例≫  ・自分を振り返り、長所や短所を把握して、良いところを伸ばし、悪いところを克服しようとする。  ・自分がすべきことがある時に、喜怒哀楽の感情に流されず行動を適切に律し、それに取り組もうとする。  ・不得意なことでも、自ら進んで、取り組もうとする。 |
| ③【課題対応能力】  　仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力  ≪例≫  ・調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を収集し、信ぴょう性が高く、かつ、必要な情報を取捨選択しながら活用できる。  ・何か問題が起こった時、次に同じような問題が起こらないようにするために、原因を調べ、課題を発見し、解決のための工夫ができる。  ・何かをする時、見通しをもって計画し、評価・改善を加えながら行動ができる。 | ④【キャリアプランニング能力】  　「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力  ≪例≫  ・学ぶことや働くことの意義について考えたり、様々な働き方や生き方があることを理解したり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしている。  ・自らの将来について具体的な目標をたて、社会の現実を視野におさめながら、その実現のための方法について考えている。  ・将来の目標の実現に向けて具体的な行動を起こしたり、それを振り返って改善したりする。 |

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの能力を自ら成長させることを意識してほしいと思います。

そして、この「キャリア・パスポート」で、高校生活を見通したり振り返ったりしながら、学びの履歴を積み重ねていくことが、みなさんの今後の人生を創っていくための「道しるべ」になることを願っています。